

自分らしい生き方、応援します！

ソーレ・スコープ

第75号
2016.JANUARY



DV防止啓発講演会

「リベンジポルノ～なぜ若者たちは性的な撮影に応じるのか～」

特集「主体的に人生をデザインしよう～知っておきたいカラダの話～」

暮らしにひとさじエッセンス「デコレーションクッキー」

イラスト：「自分たちの道」古味 望さん
(平成26年度ソーレ・イラストコンテスト佳作)

リベンジポルノ ～なぜ若者たちは 性的な撮影に応じるのか～



講師：渡辺真由子さん
ジャーナリスト 慶応大学SFC研究所上席所員

リベンジポルノが生まれる背景

リベンジポルノとは、相手の性的な画像や動画を本人の同意なく公開・拡散する行為です。2013年に東京都三鷹市で発生した女子高生殺害事件をきっかけに社会問題化し、翌年には取り締まる法律*1ができました。

リベンジポルノが生まれる背景には、携帯電話やインターネット（以下「ネット」）、SNS*2の普及といったデジタル環境の進化による「撮影」を取り巻く5つの変化があります。

① 容易化

フィルムカメラと違い、デジタルカメラは、撮影した写真を他の人に見られることなく、その場で簡単に確認できます。

写真となる過程に他者が介在しないことは撮影に対する意識の一大転機となり、他人に見せるには抵抗があるような写真でも気軽に撮影ができるようになりました。

② 公開

携帯電話にカメラ機能が加わり、ネットに接続可能となったことで、写真をメールに添付して送ることや、ネット上に公開することが一般的になりました。

③ 保存

ネット上に公開された写真や動画は、他人のものでも簡単にコピーし保存することが可能になりました。

④ 交流

地域や年齢を問わず不特定多数の人と知り合う事ができるSNSの登場は、直接顔を合わす必要がないため、自分の身元を隠したままで子どもを含めた好みの相手に近づくことを容易にしました。

⑤ 拡散

SNSなどで相手や仲間だけに見せるつもりで公開した画像は、簡単にコピーできるため、第三者により自分の知らないうちに無数のサイトに転載されて拡散する危険性が出てきました。

「撮るのは普通」の若者社会

社会の変化の中で、撮影の目的は、「記録」から「コミュニケーションの手段」に変わりました。

携帯電話にカメラ機能が付いたことで、いつでもどこでも気軽に撮影ができるため、「二人だけの秘密を持つことで絆を深めよう」と、性的な撮影を行う若者も増加しています。

高校生のなかには、「一足先に大人になった」と仲間にも自慢する目的で、SNSに恋人との親密な画像を安易に投稿する人もいます。

● 性的な撮影に応じる少女たち ～心の奥底～

性的な撮影に応じる少女たちには、「嬉しい」という感情と「つなぎとめたい」という思いが存在します。

自分の身体へのコンプレックスを持っている少女は、そのことが自己肯定感の低さにつながっているため、撮影を求められると「嬉しい」と感じ、あたかも自分の存在が求められ認められたと錯覚してしまいます。

また、誰かに必要とされることや家庭で愛情を感じる機会が少ないことで自分には存在価値がないと感じている少女の中には、性的な画像を求められることに抵抗感を持って、応じることで自分をもっと好きになってもらえると思ひ込み、不足した親からの愛情を恋人に求め、自分の身体を性的に切り売りしてでも相手を「つなぎとめよう」とします。

このような少女たちの心を理解せず、性的画像を撮らせてはいけなくと注意するだけでは、問題の解決にはなりません。

● 悪いのは100%加害者

性的画像が相手の手元にあることで、別れた後も「いつ公開・拡散されるのかわからない」不安におびえて生活しなければならなくなります。

リベンジポルノの問題は、「性的な画像を撮ったり、撮らせたりする」ことではなく、「本人の合意を得ないで裏切って公開する」ことです。被害者は恋人である相手との信頼関係の中で、他人には見せるつもりのない性的な画像の提供や撮影に応じただけであり、不特定多数への公開は認めていないのです。悪いのは100%加害者です。

リベンジポルノへの対策

リベンジポルノによる被害を防ぐ対策としては、3つのことが重要です。

1つ目は、ネットリテラシー^{※3}の教育です。

ネットやSNSの特徴を理解したうえで、撮らせる側には、性的な撮影に応じることで、その画像が「自分でコントロー

ルができなくなる」「一旦ネットに公開すると世界中に拡散し半永久的に保存されてしまう」リスクを伝え、「本当に撮らせていいのか」と考えてもらう必要があります。また、撮る側にも、「相手の画像を不特定に公開することは犯罪につながる」リスクを伝えなくてはいけないのです。

2つ目は、デートDV^{※4}を予防するための教育です。

「男らしさ、女らしさ」といった社会の中での性別の在り方に縛られると、男性は「彼女は自分の所有物」、女性は「女は男にリードされるもの」といった考え方につながって、力関係がアンバランスになり、様々な暴力が生まれやすくなります。性的な撮影を強要することも暴力の一つです。

デートDV教育を通して、「大切な存在であるあなたは、自分を大切にしている」ということを伝え、自己肯定感を育てることで「嫌なことには嫌と正直に言っている」と気づかせることが必要になります。

また、暴力が日常化した環境で育っていることが多い加害者自身も「自分は大切にされる価値がある」と気づけば、相手も大切だと思えるようになります。

3つ目は、相談機関の改革です。

支援窓口につなげたいと思っても、「親を悲しませたくない」「責められたくない」と若者の多くは相談しないのが現実です。こうした心のハードルを下げるために、親しみの持てるような空間づくりや若いスタッフも配置し、被害者が気軽に相談できる雰囲気を作ることが大切です。

※1 私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律（リベンジポルノ防止法）

※2 ソーシャル・ネットワーク・サービスの略。インターネット上の交流を通じて、個人間のコミュニケーションを目的とした社会的なつながりを作り出す会員制のサービス

※3 ネットやSNSの特徴や危険性を理解し、情報を読み解いたり、発信したりする能力

※4 恋人同士の間で起こる暴力



人生を主体的に選択していくためには、節目となるライフイベントごとに「今、何が自分にとって大切か」を考えることが必要になります。

どんな仕事をするのか、結婚するのか・しないのか。そして、女性が特に悩むのは、「子どもを産むか、産まないか」。妊娠にはパートナーが必要ですし、さらに二人でどんなに計画を立てても、思い通りにならないこともあります。

あなたらしいライフプランを考えるために、まず自分の身体のことを理解してみませんか。

どんなライフプランを描きますか

非正規雇用が半数以上という課題はあるものの、女性の労働力率は、この15年間で15%以上アップし、女性の多くが生涯を通して仕事を持つようになり、身体での出産適齢期は、働く上で必要なキャリアを形成する時期と重なることになりました。

このような変化の中で、20～30代の約8割が「子どもを産みたい」と考えていますが、仕事を優先したり、自分のキャリアをどう描いたらいいのかわからず、具体的に「いつ産むか」までは考えられないまま、過ごしているのではないのでしょうか。

産むことを優先すると、働き続

けるためには、職場環境や協力的な夫や家族などの存在が重要なポイントになります。女性は「働く」か「産む」かの選択を迫られることが多く、結果として退職などでキャリアが中断してしまうことがあります。

一方、キャリアを形成するために仕事を優先すると、妊娠に適した時期を逃してしまい、産みたいと思った人数が産めなくなったり、不妊治療が必要になるかもしれません。

いずれにしても出産後も働き続けるならば、子どもを預けなければならないため、仕事と育児を両立することに対する職場の理解や、保育園などの環境整備を求めることも不可欠になります。

自分の身体のことを知り、自然に任せることなく周囲の協力も得ながら、しっかりとビジョンを持って「産む・産まない」を考えることで、自分が望む人生を送ることができます。



「産みたいタイミング」は、「産めるタイミング」？

日本の女性は、自分の身体についての知識が不足していると言われていて、月経や避妊については、学校でも教わりますが、妊娠・出産、閉経といったことについては、あまり知りません。「高齢出産はリスクが多い」ことは聞いたことはあっても、具体的にはよく知らないのが現実です。

ホルモンバランスが良く、子宮や卵巣の問題が少なく、卵子が元気で妊娠に適した年齢は、25～35歳前後です。その後は妊娠する力が下がり始め、40歳を過ぎると妊娠はかなり難しくなります。

これには、卵子の年齢が大きくかかわっています。卵子は生まれたときに一生分が体内にあり、女性とともに年齢を重ねていきます。このため、卵子の染色体や遺伝子に異常が起こりやすくなり、妊娠が成立したとしても、40歳では20～30%、45歳では30～50%の女性で流産が起こります。

また45歳前後になると月経があっても排卵がないこともあり、閉経の10年程前からは高度な生殖医療技術によっても、妊娠率は10%以下になります。

男性にとっても、必要な知識です！

人は子どもを「産む・産まない」「いつ産むか」「何人産むか」といったことを含め、誰もが生殖に関連した権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）を平等に持っています。このことは、女性の自己決定が重要になりますが、男性にとっても無関係ではありません。

子どもを希望し通常の性生活を送りながらも、2年以上子どもができない不妊症の約40%は、男性に原因があると言われていて、出産を女性だけのことと思っていると、こうした不妊症への対応が遅れてしまい、不妊治療ができなくなってしまうこともあります。また、男性の場合も年齢と

ともに、精子の数や運動率は低下し、妊娠しづらくなってしまいます。

妊娠には、タイムリミットがあります。「妊娠はいつでもできる」という思い込みは、産みたい時に産めない状況につながります。いつまでに子どもが何人欲しいのか、出産後の家事や育児の分担も踏まえ、男性自身も子どもを持つかどうかを含めたライフプランを積極的に考え、「本当は子どもが欲しかった…」と後悔ないようにしましょう。

産む・産まないにがかわらず・・・

今すぐ「産む・産まない」を考えなくても、自分の身体を知ることは大切です。

最近では、過労やストレス、無理なダイエットによりホルモンバランスが崩れ、不正出血や生理痛、周期的に月経があっても排卵をとまなわない無排卵月経などのトラブルを抱える女性が増えています。

また婦人科系の病気の悩みがあるものの仕事が忙しくて自分の身体を気遣う余裕がないため、妊娠して初めて婦人科を受診する人も多く、そこで初めて子宮筋腫や子宮内膜症といった病気が発見されることがあります。

こうした病気を含め女性特有のがんなどは早めに発見することで、重症化を防ぐことができます。年に一度は婦人科で検診を受けるなど自分の身体をしっかりと守り、自分の選択した人生を楽しみましょう。



参考：「HUMAN+ 女と男のディクショナリー」
詳しい内容は、
公益社団法人 日本産科婦人科学会 HP
<http://www.jsog.or.jp/> をご覧ください。

数字でみる男女共同参画

地方議会議員に占める女性の割合

11.7%

(総務省「地方公共団体の議会の議員及び
長の所属派別人員調」より 平成26年12月31日現在)

終戦後に婦人参政権が認められて70年経つにも関わらず、国会や地方議会の女性議員の割合は、1割程度にとどまっています。このことは、世界各国の男女平等の度合いを数値化したジェンダー・ギャップ指数で順位が上がらない大きな要因の1つにもなっています(2015年は対象145カ国中101位)。

● 女性議員はなぜ少ないのか？

昨年の統一地方選挙の道府県議員選挙の立候補者に占める女性の割合は11.6%と少なく、女性にとっては立候補自体が難しい現状があります。

立候補をためらう理由の一つは、いまだに地域社会に根強く残る「女は家、男は仕事」という意識です。立候補を決意しても家族や親族から「家庭はどうするのか」「夫より前に出るのか」と止められて立候補を断念するケースも少なくないそうです。

また自治会長の90%以上を男性が占めることから分かるように、地域社会の中心は男性という慣行から、地域の仕組みを決定する場に女性が出ることに対する抵抗感が男性にも女性にも少なからずあります。

また、女性議員がいない議会は、都道府県議会にはないものの、市区議会で約6%、町村議会では約35%もあるため、女性が働く環境が整っていないという問題もあります。

例えば、議員には労働基準法が適用されず、議会の大半で「産休」や「育休」も制度化されていません。昨年ようやく「出産

地方議会議員に占める女性の割合の推移(全国)



資料：総務省調査による。各年12月31日現在。

を理由に議会を欠席することができるように全国的に方向性が示されたばかりです。

● 国際的には増加傾向—クオータ制導入—

世界における女性議員の割合は2割程度で、2000年の13.1%と比較しても着実に増加しています。

増加の要因には、各国における社会的状況の変化もあります。政治における男女平等を実現するため、議員や閣僚などの一定数をあらかじめ女性に割り当てるクオータ制を導入し、制度的に女性の政治参加を進めたことの影響が少なくありません。こうした国々は、人口の半分を占める女性の声を政治に反映させることは当然だと考えているのです。

● 女性自身も問題意識を！

育児や介護、非正規労働といった女性が抱える問題の多くは、個人的な問題であると同時に、社会や政治の問題です。

このような問題に対して女性が「当事者」として発言し、意思決定にその考えが反映されるようになれば、女性のみならず様々な人が生きやすい社会の実現につながるはずです。

たくさんの人の長い間の努力の結果、認められた婦人参政権。この権利を生かし、人口の半分を占める女性が政策に対する発言力を十分に持つために、女性自身も問題意識を持ち、行動を始めることが必要です。

暮らしにひとさじ エッセンス

Recipe レシピ



デコレーションクッキー

材料 (適宜)

お好みのクッキー

チョコレート※コーティングチョコレートを使うと簡単
トッピング (アーモンド、くるみ、ココナッツなど)

作り方

- 1 チョコレートは、なるべく大きさを揃え細かく刻む。
- 2 約 50～55 度のお湯で湯せんして溶かす。
このとき、水や水蒸気が入ると分離するので注意する。
- 3 クッキーを溶かしたチョコレートに浸したり、刷毛を使ってコーティングする。
- 4 コーティングした後、ココナッツなどをのせたり、チョコペンで模様を描いて、自分だけのオリジナルクッキーが完成。



coup de coeur

クードクール

〒780-8014

高知市塩屋崎町 1 丁目9-14

☎088-832-0224

ホームページURL

<http://coupdecoeur2213.web.fc2.com/>

営業時間 (昼) 11 時～17 時

定休 日土・日曜日・祝日

もうすぐ、バレンタインデー。今年のバレンタインには、お絵かき気分を楽しみながら親子でも作れるデコレーションクッキーはいかがですか。



ひとことアドバイス!

チョコレートを溶かした後、ボウルを氷水につけ26℃まで冷まし、再び30℃くらいまで温度を上げるテンパリング (温度調整) をすると、仕上がりのつやがよく、口当たりがなめらかになります。

レシピ提供 横江明子さん (coup de coeur オーナー)

「パンのように毎日その日の分だけ買って気軽に安心して、食べてもらえるお菓子を作りたい」という思いで、お店を始められた横江さん。公園のそばにある、かわいらしい佇まいの店内には、風味豊かなバター
の香りが満ちています。

以前は移動販売をしていたそうですが、「お客さんが来た時に何か一つはあたたかいものを提供したい」と焼きたてのお菓子の持つ美味しさにこだわり、3年ほど前に今の場所にお店をオープンしました。

お店のために夫が手作りしてくれたという何だか懐かしい雰囲気あふれる木製のショーケースの中は、フランスの地方菓子をメインに、オリジナルのレシピで作られた様々な焼き菓子でいっぱい。生菓子のようにカラフルではありませんが、フランス語の慣用句で「(ものに対する) 一目ぼれ」という意味を持つお店の名前のとおり、そのどれもに一目で心が惹かれて選ぶのに一苦労。

できるだけ添加物を使わない日常にある材料を使っているようですが、素材の味わいを生かしたざくざくとした食感や香ばしさで毎日食べたくなる、しみじみとした美味しさが魅力的です。

「お菓子が売れると、また焼けることが嬉しい」というくらいお菓子づくりが大好きですが、子育てが落ち着くまでは家族で過ごす時間も大切にしたいと、作りたい思いの「半分くらい」のペースでお店を開いているそうです。

お店を訪れるお客さん一人一人に飾らない笑顔で気さくに声をかける横江さん。その気取らない人柄は、昔の友達に会ったような安心感があり、優しい甘さのお菓子を求めて何度でも足を運びたくなります。

講座のご案内



無料託児付(6カ月～就学前児童・予約制)

ソーレまつり2016 ソーレでつなぐ地域のきずな

～自分らしく生きるために～ **無料**

ソーレが開館した1月に開催しているソーレまつりも、今回で17回目。気軽にご参加ください♪

記念講演会 1月24日(日)13:30～15:00(13:00開場)

「取材現場で出会った女たち —不器用な生き方でも大丈夫—

「本当にありのままがいいの？」と不安に思ったことはありませんか？ヒット作『極道の妻たち』をはじめとする取材で出会った女性たちに教えられたこと、育ててもらったことなどを通して、がんばるあなたに応援メッセージを贈ります。

講師：家田莊子(作家、高野山真言宗僧侶)

申込：往復はがきにて受付

(申込締切：1月11日(月・祝) 17時必着)

イベント 1月30日(土)・31日(日)9:30～16:00

バザー(30日のみ)、ワークショップ、ミニコンサート、活動発表などソーレ全館で楽しいイベントが盛りだくさんです。

- このほかにもさまざまな講座を開催しています。詳しくは、ソーレホームページ・セミナーガイド(4月、10月発行)をご覧ください。
- お申し込み・お問い合わせはお電話でソーレ **(088) 873-9100**まで

女性のチャレンジ&エンパワメント講座

ストレスと上手につき合う方法

家庭や職場でのトラブルは絶えません。上手にストレスとつき合っていくために自分を知って、自分を生かし、あなたらしく暮らすヒントを学びましょう。

日時 ①2月28日(日)・3月13日(日) 10:00～16:00(全2回)

講師 窪田容子(女性ライフサイクル研究所フェリアン所長、臨床心理士)

参加費 2,000円 ※初回にお支払いください

対象・定員 女性30名(先着順)

申込 1月8日(金)午前9時～電話にて

イラスト：川島結奈さん「なりたい自分」
平成26年度ソーレ・イラストコンテストソーレ特別賞



認定NPO法人こうち被害者支援センター共催

託児申込は2月13日(土)までに

「人生は変えられる」そのことばを信じて

虐待や暴力を受けた経験を持つ講師に、支援をする側に立場を変えて活動するようになったいきさつを伺い、被害に遭うことが持つ意味や回復に向けた支援プログラムについて考えます。

日時 2月23日(火)13:30～15:30

講師 藤木美奈子(WANA関西代表理事、大阪市こども相談センター外部カウンセラー)

場所 高知会館(高知市本町5丁目6-42)

※ソーレとは異なりますので、ご注意ください。

対象・定員 120名(予約優先)

申込 受付中、電話・ホームページ申込フォームにて

☐ ソーレ・メールマガジン 「FROMソーレ」

講座情報を定期的にお届けします。

購読は無料!



登録はこちらから!
登録確認メールが届きます。URLにアクセスして登録を完了してください。

施設利用のご案内



- 貸室利用時間
9:00～21:00
(土・日・月曜日9:00～17:00)
- 休館日
第2水曜日/祝日/(年末年始)12月29日～1月3日
- 図書・情報資料室
9:00～20:00(土・日・月曜日9:00～17:00)
※ただし登録カード発行及び再発行の受付は、17:00まで
- 相談室
9:00～12:00、13:00～17:00
(専用電話/088-873-9555)
※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です

- アクセス
電車…「旭町3丁目」下車100m
バス…「旭町3丁目」下車50～200m
JR…「旭駅」下車400m



駐車スペースが少ないため公共交通機関をご利用のうえ、ご来館ください。

発行

公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団 Tel.088-873-9100 Fax.088-873-9292

〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地 ホームページ <http://www.sole-kochi.or.jp> ・Eメール sole@sole-kochi.or.jp

発行日

平成28年1月10日